

第1回大麻町未来づくり会議 会議録

日 時 : 令和7年6月30日(月) 18:00~19:40

場 所 : 堀江公民館

参加委員: 小田切座長、木村委員、郡委員、五島委員、小林委員、藤川委員、大西委員
甲斐委員、松浦委員、近藤委員、阿部委員、中村委員、川井委員

事務局 : 戦略企画課

発言者	主な発言内容
事務局	定刻がまいりましたので第1回大麻町未来づくり会議を開催いたします。 はじめに泉市長より挨拶を申し上げます。
市長	本日、第1回大麻町未来づくり会議を開催いたしましたところ、大変お忙しい中、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。 鳴門市は昭和22年5月15日に市制施行し、今年で78年目になります。そして、大麻町が合併したのが昭和42年1月1日で、現在58年目となっているところです。 防災対策ということで今、大麻町板東にある消防分署の耐震性がありませんので、改築しようという計画があります。 単なる分署の建て替えというのではなく、ここを中心に大麻町をもう一度見直していきたいとの思いがあります。そこに今現在、並行してコミュニティセンターを作るといった話をしながら、ハード面でのことを進めているところでありますけれども、大事なソフト面についてあまり議論ができてなかったという思いがあります。 そこで今回、令和9年度に完成予定としていますが、その前に皆様方にここに集っていただき、今ある大麻町の課題、そして「これからどうしていくべきなのか」「今何をすべきなのか」それを各分野の代表の方に来ていただいてご議論いただき、それを実現してまいりたいと思っておりますので、今日は忌憚のないご意見を是非お願いしたいと思います。 そして、先ほど申し上げたとおり、鳴門市は再来年で80周年となりますが、その間、旧鳴門エリアも全然変わっておりませんので、今現在、鳴門駅の西側を再整備して、鳴門の一つの顔を作ろうと思っています。東の顔の鳴門駅西側と、今回の大麻町にも鳴門の顔を作っていきたい。正に鳴門市を二眼レフで見て、それからまちづくりを進めていきたいと思っています。 さらに防災の観点から言うと、高台移転ということを政府、また徳島

	県の方が進めておりますが、自然と西の方に移転していくとスムーズにいくのではないかという思いもあります。 地域自体の特色を生かしながら、大麻町未来づくり会議で、皆様方のご意見を頂戴できたらと思うところです。 まずは現状を見ていただき、それぞれの立場からお話を聞かせていただけたらと思いますので、よろしくお願い申し上げます。
事務局	ありがとうございました。 次に委員の出席状況についてご報告いたします。鳴門市観光コンベンション株式会社の山口委員、公募委員の郡委員につきましては、所用により欠席とご報告いただいております。 本会議の座長につきましては大麻町未来づくり会議設置要綱第3条第3項において座長は学識経験者をもって充てることとしております。 この規程に基づき、徳島大学総合科学部准教授の小田切委員に本会議の座長を務めていただくこととなっております。 それではここからの進行は座長にお願いしたいと思います。 小田切座長よろしくお願いします。
座長	今、ご紹介いただきました徳島大学の小田切と申します。よろしくお願いいたします。 事前にいろいろと調べさせていただき、これから皆さまの地域づくりについて私は司会役として、是非皆さまが主役となって皆さまの地域を考えていただきたい。そのような会議にしていければと思っておりますのでよろしくお願いいたします。 早速ですが会議の中身に入ってまいりたいと思います。 まず議事に入る前に、本会議は初めての開催となりますので、ご出席の委員の皆様より一言ずついただければと思います。 よろしくお願いいたします。
出席委員	各出席委員より自己紹介
座長	皆さまありがとうございました。私も会議の司会をよくやらせていただくが、地域によってはマイナス意見から入るところもあるが、皆さまからは前向きなご挨拶をいただきました。前向きに捉えていくということは重要であり、一方ではどこに課題があるのか、その課題を克服していくためにはどうすればいいか、いずれにしても皆様の前向きなご意見が重要になってくると思いますので、幸先のいいスタートが切れたのではないかとと思うところです。皆さまありがとうございました。
座長	次の議事に入っていきたいと思います。 次第4 座長の職務代理者の指名についての審議に移ってまいりたい

	と思います。 会議の設置要綱第3条第5項、座長に事故があるとき、あらかじめ座長が指名した委員がその職務を代理するという規程になっています。 この代理の方を決めるというのが一つ目の議題となります。 自薦・他薦いずれでも結構なので、ご推薦等ありましたらお願いしたいと思います。いかがでしょうか。
委員	木村委員にお願いしたらどうかと思います。大麻町の実情もよく知っており、適任者と思っております。どうぞよろしくお願いいたします。
座長	木村委員というご推薦がありましたが、皆様いかがでしょうか。
出席委員	(一同拍手)
座長	それでは木村委員が代理者ということで皆様よろしく申し上げます。 続いて、次第5 会議の公開等について、会議の公開・情報発信・議事録等の取扱い等について確認したいので、事務局から説明をお願いします。
事務局	資料1をご覧くださいと思います。 要綱の第5条第2項に「会議は公開とする。ただし、座長が必要と認めるときは、会議の全部または一部を非公開とすることができる。」としており、基本的に会議については公開とさせていただきたいと思います。 また、会議の開催状況につきましては、市公式ウェブサイト等で、開催日や開催場所についてお知らせし、事前申込なしで傍聴可能となっております。 非公開の規定については、例えば、今後、具体的な場所とか個人情報やプライバシーに一定の配慮が必要となることも想定されますので、そうした場合は、座長とご相談をさせていただきたいとの趣旨で記載しております。 なお、議事録については、本日も事務局で、録音をさせていただいており、会議後、文字に起こして、各委員にご確認いただいた上で、市公式ウェブサイトにて、公開させていただきたいと思っております。こうした背景といたしましては、今回「まちづくり」とか「活性化」に向けた会議ですので、市民の方への情報発信、また色々ご意見をいただくことがあるかと思いますが、その意見の反映とか活発な議論につなげていきたいということで公開とさせていただいております。 また、資料2に「大麻町未来づくり会議運営に関する基本ルール」と書かせていただいております、会議の役割と目的については先ほど申し上げた地域課題の解決とか大麻町のまちづくりにつなげていくことを基本としています。また各委員さんは専門分野の関係者と思いますが、日々の

	活動を通じた専門性や知見、観光と言っても商業や農業と関わってきますので、そうしたところで得られたノウハウや地域住民としての視点の両方からご提言をいただければと思っています。 基本的な運営ルールについては先ほど申した通り、会議は原則として公開する、また、大麻町全体のまちづくりの話ですので、地域や団体の個別ではなく、できるだけ自由な意見や発想を言っていただき、座長にも各委員さんの意見の発言時間の確保に努めていただければと思います。決まった内容についてはできるだけ尊重するような形で前に進めていけるよう整理していけたらと考えております。
座長	ありがとうございました。 会議の情報公開に関してご説明をいただきました。このような進め方でよろしいでしょうか。いかがでしょうか。問題なければこの形で進めていければと思っています。 それでは次第6 議題に入ってまいりたいと思います。まずは事務局から資料の説明をお願いします。
事務局	資料3に基づき、本会議の役割と目的、大麻町の特徴、課題、今後の動向について事務局から原案として説明。
座長	ありがとうございました。 今日は非常にたくさんの資料をご用意いただき、内容の説明をいただいたと思いますので、今から意見交換に移りたいと思います。 少し論点を順番に整理しながら、皆さまからご意見をいただければと思います。 まずは今日お配りいただいた資料に関して、意見というよりも「この話を聞きたい」「どういった意味ですか」といった事務局が作成した資料について確認したいというものがありましたら、まず確認する時間を取りたいと思います。何か気になる点がある方いらっしゃいますか。
委員	遺跡とか古墳のことが書かれていないが。
事務局	都市計画マスタープランというものを令和5年頃に策定しており、簡略的に主なものを記載させていただいています。鳴門板野古墳群のことだと思しますので、歴史・文化的資源として今後のランドデザインを描くにあたって視野に入れていきたいと考えています。
座長	次回以降、歴史の話になった時には入れていただけるということで。ありがとうございます。他にいかがでしょうか。
委員	問題点はよく洗い出してくれていると思います。
座長	途中でここを聞きたいとかありましたら、その都度ご意見いただきたいと思います。

	では、具体的に皆様からのご意見をいただきたいと思いますが、先ほど「前向きに考えましょう」というご挨拶いただいたところですが、普段住んでいる皆さまだからこそ分かる地域の課題の部分、その課題を今回の資料で人口減少に始まり、いろんな案件をまとめていただいているが、その課題に関連することでも結構ですし、あるいはここに書いてないけど心配だということ、これからの課題になってくるのではないかと課題認識についてのご意見をいただいて、共有したいということ、を最初の論点にしたいと思います。 どんな形でもいいので、課題の意識という意味で、皆さまが「普段こう思っている」ということをご意見いただければと思います。 いかがでしょうか。
委員	資料でキーワードを「公共交通」、「賑わい創出」、「企業誘致」とか書いています。キーワードをテーマにして絞っていくというのも一つの手ではないかと思う。1つずつ深掘りしていき「どうすればいいか」「こうしましょう」といった話でもいいのではないかと思います。 それぞれご意見あるかと思いますが、特化したいろんな業界の人がいらっしゃるんで、特化した意見、専門職の話とか出てくると思うので、今の資料でできるのではと思いました。
座長	ありがとうございます。 今、お話しいただいたのは資料3の3ページのところでまとめたいただいたキーワードということになります。当然、全体で話すことと個別のそれぞれの分野で具体的に絞り込むことの両方があると思います。 8つ出ているテーマでいいかなと思いますか。他にやってほしいテーマとかあれば言っていただければと思います。
委員	子育てがない。
座長	教育・子育てといったところですね。 他にテーマで取り上げた方がいいのではないかとというのがもしあればと思いますが。
委員	大麻町自体の歴史的なことですが、日本全体が人口減少でいっぱい空き家が出ている。これから子供の数も減っていく。これは日本全国で起きている喫緊の課題ですが、大麻町は先ほど他の委員からおっしゃっていただきましたが、県外の方から見たらすごく良いところがいっぱいある。 市長も最近いろんな政策の報告会で「鳴門市民は鳴門市が他の市町村から見たら本当にいいまちであるということ認識できていないところがある」というところで、ある意味では県外で生活していた人が帰って

	来てくれて、何が問題なのかというところをこの会議の中で率直に意見を述べていただくと、地元ですっと住んでいる人間よりも地元のことが良くわかるという風に考えます。 先ほど一部出ましたが、大麻町のプロモーションが地味である。 今まで歴史や文化で住みやすいとか環境がいいとかいっぱいあるけどプロモーションの発信力が時代とともに藍住や北島に負けていった。過去よかったものにしがみつくよりも現状を十分に把握した上で、このようなまちづくりプランニングをすると、このような結果が出るのではないかという風な方向性を、それぞれ皆さまが専門家ですので、皆で出し合っていくと最終的にはいいものが出来てくるのではないかと思います。 私は空き家の専門家ですが、鳴門市には今、2, 761戸ぐらいの空き家があります。ここ5年で1, 200戸ぐらい増えた。令和3年のデータなので令和8年に国勢調査があるともう少し増えていきます。実際、先ほど市長も言いましたけど板東というところ、堀江というところは歴史や文化はあるのだけど、鉄道も走っていて札所もあった。大麻比古神社もあった。でも地味なんです。だからこういったものをいい意味で取り上げ方とか活性化の仕方とかを考えていくと面白いかと思います。 空き家にしても大麻町全体で414戸ほどあります。さっき委員の中でも言っていたかのように、空き家の活用で移住者を受け入れるとか、民泊をするという風なことで良いところを知ってもらうには、ちょっと滞在してもらう。大麻町にはホテルが無いから素通りされてしまい、お金を落としてもらうことが少ない。県外の人から見るといいまちには必ずいろんないい要素があるから来る。そういうものをこの中で意見を出し合っていくと素晴らしいものが出来るのではと思います。
座長	ありがとうございます。 プロモーションの話になりましたけど、徳島県全体的にプロモーションには課題がある。いいものを持っているのに結構知られていないというのがあって、この場所も同じなのかも知れない。どういう風に情報発信していくかというのも大きな課題かなという風に思います。 他、こういうテーマで議論した方がいいのではないかとありましたらと思いますが、いかがでしょうか。
委員	大麻町は災害というところで考えていくと、南海・東南海の地震が仮に起こったとして、海に近い所のエリアは津波とかいろんな被害想定がされるんですけど、大麻町については津波被害が少ないです。こんな時

	代だからこそ大麻町は津波被害が無いっていう安全性みたいなものを一つテーマにしたらどうかと思います。ただ活断層がありますので、直下型が起こると難しいですけど、1, 200年災害が無いという所もアピールポイントかと思います。
座長	ありがとうございます。 災害はどこでも大きな課題になります。大きなテーマの一つではありますのでどこかで議論していくかと思います。 他には追加でありますか。こうしてほしいとかの意見の方が皆さん出しやすいかもしれませんが、市の方でも課題はきちんとデータも踏まえて整理いただいておりますので、ベースとしては今日お配りいただいた資料に粗方出てる部分もあるかなというところでもあります。一応今日の議論も踏まえて、次の会議では今日の会議で出たテーマをより検討していくという形になります。 初回ということで、これは是非議論しておいてほしいというのがあれば挙げといていただけると、次の会議へ反映させていただきますので、それも踏まえ、浅く広く出してもらった方がいいのかと思いますが、大丈夫でしょうか。
委員	自分も生まれも育ちも大麻町堀江地区ですが、自分が子供の頃は、はっきり言ってこの大麻町から出て県外とかに行きたいとずっと思っていた。結局、大学までは徳島にいたのですが、その後は留学ですと20代は海外でいまして、行ったり来たりを繰り返していたんですが、海外に行って、外から徳島、地元を見るとすごい魅力がたくさんあることに気づいて自分も戻ってきた。 今、自分も子育て中で、昨年子供が生まれたんですけど、子供が遊べる場所とか、子供の居場所というのが堀江地区にはほとんどないのかなと思いました。子育て世代、子供を持った母親とかが交流できる場所もあまりないと妻も言うておまして、課題に1つあるのかなと思います。 また、自分も国際交流イベントをしているのですが、子供たちのキッカケづくりが大麻町でできたらすごくいいなと。自分が海外で外国人と交流したキッカケで人生が180度変わったこともあり、キッカケ格差がすごくあり、都会と田舎では特に大きいと思う。そういったキッカケを作ることができればいいのかなと思います。
座長	ありがとうございます。 先ほども子育てというキーワードありましたが、人口という意味では若い人たちに入ってきて来てもらうというのは非常に大きな課題と思います。遊び場とか子育てのコミュニティを作るという話題提供をいただい

	たと思います。
委員	大麻地区の未来づくりという大きなテーマで会議をしている。我々地区の意見は非常に聞いてほしいですが、最終的なグランドデザインを考えたら、今現在、民間でも地方創生に凄い関心を持って今やっている企業がたくさんある。そこにあるノウハウを聞くのも一つの手ではないかと思います。 今まで企業で地域のプロジェクトで創生事業に取り組んでいるところがかかなりあって、例えば淡路島の西海岸のように、以前は住民しか通らなかったところが、今や県外からお客さんが盛んに来ている。あのような賑わいというのは地元の人間の意見を聞いてほしいですけど、あそこまでの賑わいを創出するには民間の意見を大事にしたのではと思う。 市の方でも協定を締結していただくようなことができるのだろうか。例えば香川県の坂出市や愛媛県の新居浜市のように、プロジェクトの包括協定を結んで、民間の知恵を借りるというのも大いにあると思います。そういったことも是非考えてもらって大きな大麻町の未来づくりを考えてほしいと思います。
座長	ありがとうございます。 今日もいくつか他の都市の事例を紹介いただいておりますが、勉強しながら最後のビジョンを作っていくことも非常に大事な部分と思っています。 事務局へ皆さんから知っている事例とかありましたら寄せていただければと思います。他いかがでしょうか。
委員	できたら次回、各委員さんが考えるプロモーション、「こうしたら」という意見を述べていただくというのはどうですか。せっかくこのメンバーで集まったのでいろいろ地域の事や専門的なことなど、具体的な話が出てくると思う。市長や傍聴席の方もいらっしゃるので、実際にいろんな立場から見たいろんな提案をみんなで考える。次回はそれぐらい具体的な話になるぐらいの宿題を出してみたいはいかがでしょうか。
委員	テーマごとに出すのか。
委員	概要でいい。
座長	会議の進め方とか今後の方向性、スケジュールを含めてのご意見です。 ご意見いただきましたので、今後のスケジュールも見ながら、今のご意見について検討したいと思っています。資料の18ページが事務局で作っていただいたロードマップとなっていて、あまり回数はないので、基本的には意見をどんどん出してもらって、後はまとめていくという形にしないといけない。

	ご提案いただいたように、次回はより具体的な意見、アイデアを与えていく形に入って、整理をするのが年度末というスケジュールです。 その後、次年度2回という形になる。 後ほどアンケートも確認したいが、アンケートを取っていただくと結果が次回に間に合う感じになりますか。
事務局	次回の時には整理したものをお示ししたいと思っております。 先ほど委員からご提案いただいた内容も併せて、2回目には可能と考えています。
座長	スケジュール的にはこんな形で進んでいくことを予定している。 今、ご提案いただいたように皆さんの宿題にして、もう少しディスカッションができるようにした方が意見は出やすいかもしれません。次の2回目の会議の時は、会議の形も事務局と相談して考えさせていただこうと思います。
委員	委員様から素晴らしいご提案があったが、グランドデザインのパーツになるキーワード、資料3ページに出ているキーワードのジャンルが子育て支援含めて9つあるんですけど、この部分について「是非やりたい」、「ここは意見がいっぱいある」とかのチーム分けをして、その方と色々話をしてみたいです。
座長	一人ひとりが意見を言う会議では、なかなかディスカッションにならないと思うので、もう少し関心の近い方とか関心を持ったテーマごとに少し議論を深める方がアイデアとして出しやすいと思います。 次回以降の形で、どのように会議に反映させるかというのは検討させていただきます。事務局側の宿題ということで検討いただけたらと思います。 皆さんの宿題はなんでもいい。提案した人が責任もってやるという訳でもなく、あくまでもご自身の興味や関心のある事でも結構ですし、全体について検討みたいなのでも結構です。
委員	16ページに「賑わいや活性化」というテーマと「交通や移動手段」、「生活」と3つのキーワードがある。各委員さんに事前に聞いたような意見がここに入っており、市役所にまとめていただいている。 この部分について一つのテーマでもいいので、自分だったらこうした方がいいなという、あまり具体的なことを言うのは問題になるかもしれないので大まかなものでいい。そうすると全体像が見えてくる。
座長	ここには先ほどご意見いただいた「子育て」が入ってないので足していく形で、考えていただきたい宿題としては「こうした方が良くないか」、「こういうアイデアがありますよ」、「こういうテーマはどうで

	すか」、「ここをこうすれば」といった将来に向けたビジョンに含まれるかどうかそこまで考えられる方は考えていただいても結構ですし、もう少し身近な部分のテーマについて持ってくるのも結構です。そういうのを考えてきていただく形にして、次回にいきたいと思います。
委員	このテーマが出てくると短期、中期、長期といったビジョンが出てくる。短期、直近については、これをテーマとして行政と一緒に進めていければというのが出てくる。中期はこうゆう建物が建った方がいいとかいろんなものが出てくると思うので、それぞれ忌憚のない意見を今度はプロモーションしていただきたい。
座長	事務局の方で統一フォーマットか何かを作っていただき、それに合わせて皆さんに書いていただけたらと思います。何もない状態から作ってきてくださいというのは難しいと思うので。 今、いただいた意見を踏まえて、事務局の方でどのような形でご意見を集約するかというのを、ここでは細かい点まで決めなくていいと思う。
事務局	いきなり来ていただいてそれぞれが意見を言うより、事前にパート分けをすとか、テーマを分けるとか座長とお話しさせていただいて、できるだけ意見がしやすいような形にして、委員おっしゃっていただいた具体的などところも最終ビジョンに落とし込んでいくようなことも含めて検討していけたらと思っています。
委員	鳴門線は絶対に無くなりませんか。
市長	分かりませんが、無くさないように頑張っていきます。大量輸送するのは鉄道でないとダメです。学校の子供たちの移動をバスにして、バスを4台も5台も連ねて行くことはまず無理です。 時間的にも非常にあやふやな状態になりますので、鳴門線は是非守っていくということで、既に3年ぐらい前から「JR鳴門線に関する意見交換会」を作っている議論をしています。JRにも冒頭申し上げました鳴門駅西側の再整備というのは、駅の事も絡めてJRに残ってほしいという思いも含めて整備も考えていこうとしています。 JRの状況としては、非常に厳しくて、九州と北海道と四国なんですけど、四国は非常に厳しいです。それに対応することも踏まえて今、再整備をしようとしておりますので、その点ご理解いただければと思います。 また、JRの件が出ますと板東駅、池谷駅は確実に出てくると思うので、公共交通のテーマの一つになるんじゃないかと思っています。 もう一つ公共交通のテーマの中に東西の移動、例えば「堀江から撫養」、「板東から撫養」これが東西です。これが求められているというよりも、

	たぶん堀江、板東は南北です。南の方に下りた時に北島、藍住そちらの方のルートを知っているのではというのが以前から思っているんですけど、それをどうしていくのか、この場でいろんな話をさせていただいたら非常にありがたいと思います。 板東から北島に行って物を買ってしまったら、北島に行ってしまうのではないかという意見もありますが、現実的に今、皆さんが求めているのは撫養地区まで買い物には行かないはずで、大麻町の方はだいたい南の方へ行かれる。これが現実であって、こういうことを見ていくと先ほど申し上げた通り、鳴門市を1区切りではなく2眼レフ、東と西のまちとしての特徴を生かして、もう一度考え直してはどうかというのがあって、今回、この話も皆様方にさせていただければと思います。
委員	J R鳴門線があるということで話をされていると思うんですけど、鳴門線に乗ってレンコン畑見てノロノロと風景を楽しむというか、そういうのもアピールしてもいいんじゃないかと思います。
座長	ありがとうございます。 公共交通非常に重要な問題だなと思いますので、この会議でも重要なテーマとして引き続き議論することになると思います。 一旦ここまで整理しましょう。少し整理をしたいと思いますが、まず、事務局でまとめた配布資料と中に入っていること、今後の進め方についてですけど、基本的にはこの筋で進めていくような形で問題なければ、この形で次回以降も設定する形にしていきたいと思いますがよろしいでしょうか。 その際に今日ご意見いただきました子育ての分野をもう少し検討していくとか、プロモーションをもっとしていこうというご意見をいただきましたし、今日いただいた意見を反映していく形にする。 あと、次回の会議に向けて、もう少し意見が出しやすいような設計にして、次回の会議の進め方を考えるということ。また皆様に宿題を考えてきていただく。宿題の出し方とかフォーマットについては、事務局と相談して皆さまにご連絡をさせていただきます。ここまでが今日、意見として出ているところだと思います。 これ以外で何かお気づきになった点とか言い忘れたことがありましたら、5回しかありませんので是非いただければと思いますがいかがでしょうか。
委員	先ほどの市長の話なんですけど、藍住とか北島に行く路線確保の前にそれぐらいの規模のスーパーとかがあれば行く路線はいらなくなるんですけど、誘致するのは難しいですか。

市長	企業が進出する時には、マーケティング調査をした中で成り立つかどうかというのが一番の判断にあると思います。ある程度のお声がけとかはできるんですけど、最終決定についてはマーケティングに合うようなものができたという判断がされるのではないかと考えています。 この話はまた出るとは思っていますが、「この地に企業を誘致しましょう」とか「商業施設を誘致しましょう」というのを一つのテーマにしてもいいんじゃないかと思っています。それを実現していくなかで、我々もどこまでできるかというのは、こちらの方でやらせていただけたらと思います。 まずは大きなグランドデザインを描いていただければいいのかなと。そのための会議なのでどんどん話をさせていただければと思います。
委員	堀江地区なんですけど、蔵見学とか書いていますが、それ以外に一番さんの奥の院で東林院がございます。 また阿波神社、これは都市伝説的な話ですが、昭和天皇がそこに祀られるかもしれんという話があったような阿波神社の歴史とか東林院の奥の院の歴史的な話を聞かせていただいたり。
座長	ありがとうございます。 観光資源を含めて地域の資源をどう見せていくか、今日いくつかご意見が出ていましたが、それも大きな課題であると思います。 あと、ご意見ありましたように公共交通の問題と企業誘致、スーパーの問題がセットではあると思いますが、その辺が大きな柱の1つかなと思います。
委員	板東地区にドラッグストアができる。
委員	ドラッグストアができるぐらいなので、企業も需要があると思ってくれているんじゃないか。
委員	一番さんと二番さんの間にできる。
委員	座長が鳴池線が混んでいたと仰るぐらい、住む人よりも通る人がだいぶいるので誘致をお願いします。
委員	民間企業の意見という話があったが、日垂のあるところも大麻町。日垂に大麻町にも貢献してもらうように働きかけてもらえたら。 大きな建物の横にもう一つ建物ができると聞いて、川崎の橋ぐらいまで用地を買っているという話を聞いたことがある。工場を建てるのに自然（緑地）がいるということでだいぶ土地を買っている。
委員	農業の農振地域とかの線引きを。北島とか藍住で工場がどんどん進出しているので。
委員	発展した藍住町、北島町は用途地域がある部分と無指定という指定が

	ないから開発が楽なんです。ただ大麻町については、堀江も板東も一部市街化区域で旧の撫養街道沿いが、大半は調整区域となっていますので、特に農地について幹線道路沿いの農地を開発するのに調整区域の障害があるということ。 余談ですが、鳴門市から空き家の指定を受けて空き家問題をやっていますが、新聞を見た愛媛県のある業者から連絡があって、「板東にビジネスホテルを建てる用地は無いか」とか「民泊を含めた民宿をしたいが程度のいい中古が出たら教えてほしい」とかあってメディアの発信力はすごいと思います。 企業が、商売する人がこの土地がいいなと思ってもらえるような様相が出来ればそういう声はどんどん増えていくと思うんです。 触れましたけど、大麻町には泊まる場所がないので、ホテルの誘致なんかは絶対だと思っている。特に広い空き家とか工場跡地でもいいので、そういう物を達成できればいいなと思っている。
座長	ありがとうございます。 今、市長さんの話もあったが、今できなくてもこれからやっていくというのを決めていくのがこの会議ですので、現状見ると難しいが、頑張ってるんだというのがビジョンですので、そういう意見も含めて、次回以降皆様からアイデアをもらえればと思います。
事務局	会議の回数については5回を目安としていますが、進捗状況等に応じた少しタイトにするとか考えさせていただきたいのと、既にプロモーションとの声をいただいたので、1つ大麻に防災センターができるにあたって、防災センター周辺のエリア全体のプロモーションみたいなものを考えていかなければと担当としては思っており、フェーズフリーとかコミュニティとかで、参考になるような大麻町全体のプロモーション動画みたいなものを検討できればと思っており、参考にしている事例があります。
市長	北海道の小清水町というところの4千人ぐらいの町で、その町長さんが出てプレゼンするんですけど、ここの庁舎がフェーズフリーの考え方を基にして作っています。 視察に行ったら大麻町の防災センターの叩き台というか基にした小清水町の庁舎です。庁舎なんですけど見ていただければと思います。イメージとして大麻町の防災センターは、防災センターですけどそこにコミュニティエリアも中に入った、そういうイメージとして見ていただければと思いますので少しお時間ください。4千人の町がこういう風になっているというところです。

	(動画を視聴)
市長	私がこれを見たときに、大麻町だったらこれ以上の物ができるのではと思いました。だから、是非、皆さんに見ていただきたかった。あれは庁舎なんです。町役場なんです。その中でスポーツジムがあったり、ご飯を食べたりできたりするというのが、板東の防災センターとしてできると、見たイメージが膨らむのではないかと思ったので見ていただきたかった。 自然に対しても、小清水に負けないものが大麻にはあるし、歴史もあるので、プロモーションをすると東京からでも来てくれる。東京から北海道まで1時間半ぐらい、鳴門は1時間で来れるので、遜色ないんじゃないかなと思います。 是非、大麻が小清水に負けないぐらい素晴らしいところになってほしいという思いです。よろしくお願いします。
座長	泉市長ありがとうございます。こういった部分も含めて次回以降、積極的な議論ができればなと思っています。 1点アンケートはいつやるのですか。会議名でアンケートを取るみたいなのですが、最終確認はいつですか。
事務局	できるだけ早めにやりたいとは思っていますが、もう一度、座長にも確認させていただきたいと思います。
座長	アンケートに関しても、もうちょっと聞いたらいいんじゃないかとかがありましたら。見た感じ、皆さんからご意見いただいた部分は盛り込んでいただいているかなと思いますが、アンケートは一度取ってしまうと2回目取るのは難しいので、もしご意見ありましたら事務局にご意見いただく感じでよろしいですか。
事務局	概ね10日ぐらいを目途にいただければと思います。
座長	1週間程度を目途にアンケートを見て、ここを聞いてほしいとかあれば、入れ込んでいただく形にしてアンケートを事務局で実施いただきたいと思います。
事務局	7月7日の月曜日を目途にして、ご意見いただけたらと思っています。
座長	1週間ではございますが、皆さんご意見ございましたら事務局までご意見いただければと思いますのでよろしくお願いします。 細かい点に関しては、最終的に私の方でチェックさせていただいて、事務局と相談しましてアンケートを取る形にしたいと思います。大丈夫でしょうか。 皆さま本当にありがとうございました。いろいろとご意見いただきまして、幸先のいいスタートが切れたのではと思います。

	会議は以上となりますので進行を事務局に戻します。
事務局	本日の会議録につきましては、後日、事務局で確認、整理の上、委員の皆様へ文書またはメールでお送りさせていただきますので、ご確認をお願いいたします。 次回の会議につきましては、アンケートの実施や分析に時間を要するため、１０月１４日の火曜日もしくは１０月１６日の木曜日を予定しておりまして、場所は板東公民館を考えております。現時点ではこういった予定となっておりますのでよろしくお願いいたします。 本日欠席している委員の方にも、ご都合を確認しまして日程が決まりましたら改めてご連絡させていただきます。 本日はご多用のところご出席いただき誠にありがとうございました。